

報道資料

令和2年8月11日(火)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:戸毛・村田
報道専用電話:0742-27-8612(ダイヤルイン)内線:3130、3133
一般相談電話:0742-27-8561
総務部知事公室 防災統括室 担当:中西・小原
電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者・患者の発生について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者が3例(県内感染者337~339例目、患者291~293例目)発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実にっております。

感染者……PCR検査の結果が「陽性」の方

患者……PCR検査の結果が「陽性」で、かつ、症状のある方

1)感染者数の状況

※ 感染者 数累計	現在 感染者数	入院中(入院予定含む) [対応可能数]		宿泊療養 [対応可能 数]	自宅療養	死亡	治癒 累計
			重症 [対応可能数]				
339	99	95 [467]	1 [25]	4 [108]	—	2	238
前日比	+3	+2	0	0	—	0	+1

※ 他府県発表との重複 9例(前日比+1例)

※ 治癒者:県内感染者272例目

2) 感染者(患者)の概要

感染者337例目 (患者291例目)					
年代・性別	20代・男性	採取日 結果判明日	8月10日 8月10日	特記事項 (発症等2日 前からの行 動歴等)	大阪府重複例 下記以外外出なし 8月6~8日 大阪府内出 勤 8月10日 帰国者接触者 外来受診。検体採取。
居住地	三郷町	入院・宿泊日 (予定含む)	8月10日		
職業	医療従事者 (大阪府内)	現在の状態	軽症		
発症日 症状	8月8日 発熱		咽頭痛、頭痛、 倦怠感	濃厚接触者	調査中
				推定感染経 路	調査中

感染者338例目 (患者292例目)					
年代・性別	80代・女性	採取日 結果判明日	8月9日 8月10日	特記事項 (発症等2日 前からの行 動歴等)	下記以外外出なし 7月30、31日 近隣外出 8月9日 帰国者接触者 外来受診。検体採取。
居住地	大和郡山市	入院・宿泊日 (予定含む)	8月10日		
職業	無職	現在の状態	中等症		
発症日 症状	8月1日 咳		脱水、食欲不 振	濃厚接触者	家族2名他調査中
				推定感染経 路	調査中

感染者339例目 (患者293例目)					
年代・性別	40代・男性	採取日 結果判明日	8月6日 8月9日	特記事項 (発症等2日 前からの行 動歴等)	下記以外外出なし 7月28日 兵庫県内外出 (仕事・公共交通機関利 用) 7月29日 大阪市内出勤 (公共交通機関利用) 8月6日 帰国者接触者 外来受診。検体採取。 8月9日 家族の陽性判 明。
居住地	生駒市	入院・宿泊日 (予定含む)	8月10日		
職業	会社員 (大阪市内)	現在の状態	軽症		
発症日 症 状	7月30日 喉の違和感		咳	濃厚接触者	職場他調査中
				推定感染経 路	大阪市内(勤務)

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。
施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いします。

3) 県の対応

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。
- 新型コロナウイルス感染症を疑う方への相談窓口として、「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。

新型コロナウイルスに感染した不安のある方は、こちらに電話相談してください。

少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐにご相談ください。(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

★ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

★ 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方及び妊婦の方

★ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談ください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

■ 帰国者・接触者相談センター(新型コロナ受診相談窓口)

相談窓口	電話番号	FAX 番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

【県民のみなさまへ】

東京や大阪など、大都市での感染例が増えています。

奈良県においては、7月以降、友人との交流、職場、家庭での感染が目立ってきていることにご注意いただき、引き続き、「うつらない・うつさない」ための感染予防の徹底をお願いします。

なお、県では、今後も感染防止対策に取り組むとともに、感染症とも共存できる社会・経済活動体制を構築してまいります。

感染予防のための「3つの徹底」

- ①手洗い、手指消毒の徹底
- ②接触しない、人との間隔は2m（最低1m）空ける
- ③症状がある場合の外出自粛の徹底

最近の推定感染経路の種類からの

「うつらない・うつさない」ための注意事項

○1次感染の感染予防に向けて

- ・大阪での飲食 → 多人数、向かい合わせ、長時間は避ける！
- ・大阪での買い物 → 計画的に素早く済ませます！
- ・大阪での勤務 → 人との間隔、換気を徹底！

○2次以降の感染予防に向けて

- ・友人との飲食 → 向かい合わせ、長時間は避ける！
- ・車同乗 → マスク、換気を徹底！
- ・職場 → 対面を避け、換気を徹底！
- ・家庭 → 手洗い！着替え！シャワー！

新しい旅のエチケット（国土交通省観光庁ホームページより）

- 旅ゆけば、何はともあれ、手洗い・消毒。
- マスク着け、私も安心、周りも安心。
- 間あけ、ゆったり並べば、気持ちもゆったり。周りも安心。
- 毎朝の健康チェックは、おしゃれな旅の身だしなみ。
- こまめに換気、フレッシュ外気は旅のごちそう。